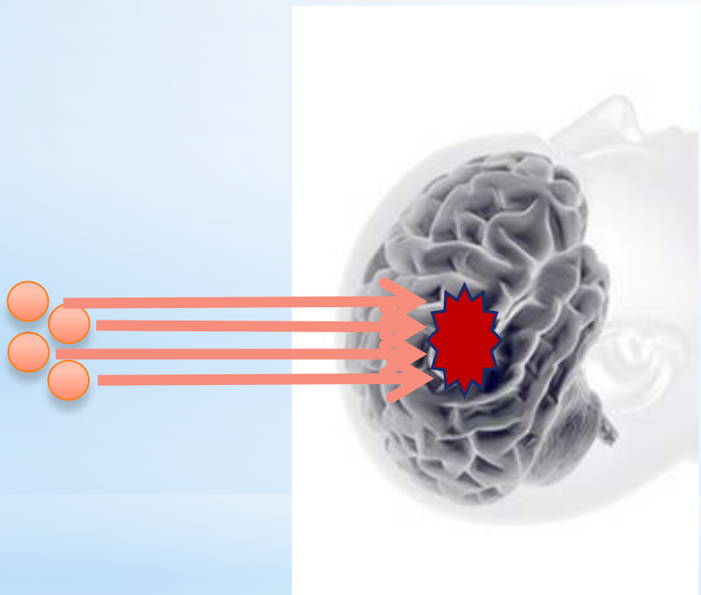
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
がん治療のブレイクスルーを担う医療人育成

第30回 東京大学・横浜市立大学・東邦大学・自治医科大学合同セミナー

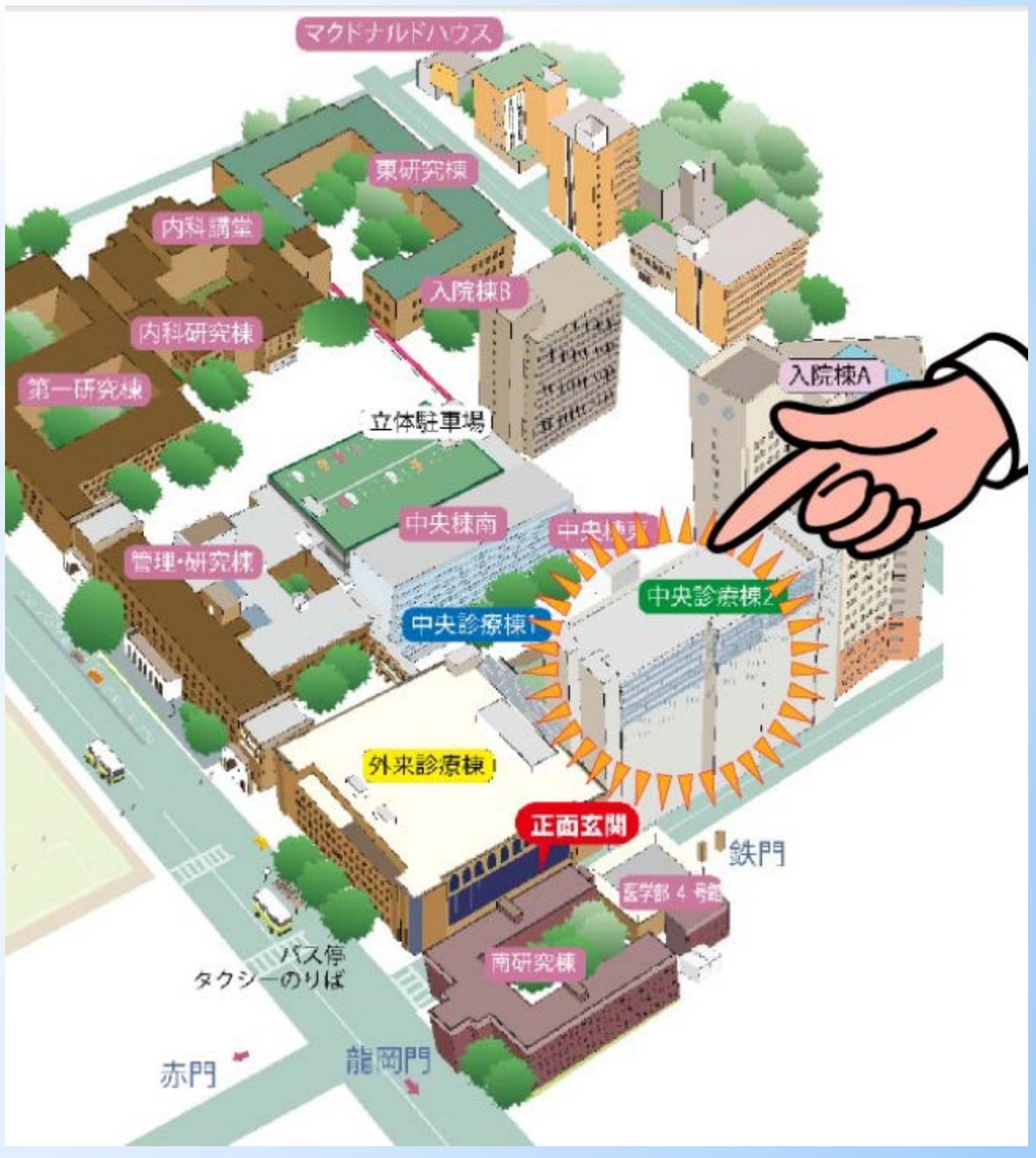
日時：平成27年3月2日 18:30-20:00
場所：東大病院中央診療棟II　7階大会議室
（連携大学遠隔同時講義を予定しています）
演者：井垣浩先生（国立がん研究センター中央病院 放射線治療科　病棟医長）

演題：ホウ素中性子捕捉療法の現状と将来展望

従来のX線を用いた放射線治療は、放射線が通過した距離や形態と線量が相関する治療であり、腫瘍周辺の正常組織への一定の被曝が避けられなかった。
　他方、ホウ素中性子捕捉療法は、腫瘍細胞に選択的にホウ素を取り込ませ、体外から中性子線を照射することにより、飛程の短いα線により、腫瘍細胞を選択的に照射することができる。このため副作用が劇的に低減できる。
加速器から中性子を生成することにより、病院で治療することが可能となる。
ホウ素中性子捕捉療法の現状と今後の展望を述べる。



当セミナーは、がんプロフェッショナルの養成、がん治療のブレイクスルーを担う医療人育成のために設置されたプランです。
がん医療に関心のあるすべての若手医師、医療スタッフのご参加を歓迎致します。



連絡先：がんプロ事務局　作美明
asakumi-tky@umin.ac.jp